

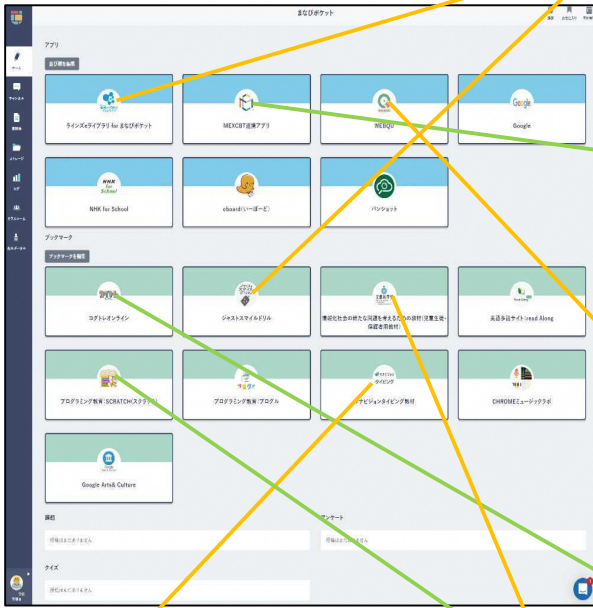


教職員版
R4 vol.10
保護者版

宮古島市はGIGAスクール構想で「宮古の自然や文化に誇りを持ち、超スマート社会(Society 5.0)を心豊かにたくましく生きる主体性、創造性、国際性に溢れた明るい子」の育成を目指します

令和4年10月に学習eポータル「まなびポケット」を見守り学習者用タブレットに整備し運用を開始しています。今号では、この学習eポータルでどういうことに取り組めるのかを示します。学校での用途も含め、各家庭でのICTを活用した学習の取組についてご理解をお願いします。

授業内外でつかえる！学習eポータル



【デジタルドリル】



*中学校は「eライブラリ」
小学校は学校によって「eライブラリ」と「ジャストスマイルドリル」のどちらかになります。

各教科での学習内容について、既習事項や習熟を確認できるドリル形式となっています。教師側が指定し、課題として取り組むこともできますが、学習者本人が内容を指定して取り組むことができます。

☆家庭での活用として☆
その日に学習した内容に取り組み、習熟を確認する。次時の内容を予習することで、活用する活動に取り組みやすくなります。



MEXCBT
メックビット

【文部科学省MEXCBT(メックビット)】

子供の学びの保障の観点から、児童生徒が学校や家庭において、学習やアセスメントができるCBTシステム。

☆家庭での活用として☆

上記のデジタルドリルと同様な機能になっており、過去に文部科学省や他自治体作成の問題、各種検定等に取り組むことができます。



WEBQU

【WEBQU】学級経営サポートシステム

家庭での利用はできませんが、学級において実施します。(年2回で実施できます。1回目は実態把握、2回目は改善策による改善結果を確認することになっています。)

児童生徒の学級満足度をアンケート実施日当日に把握することができます。実施により、いじめ防止・不登校傾向を事前にキャッチし、学校生活への適応を前提に学習指導も包括したサポートが可能で、学級集団づくりに活かしていきます。

【コグトレオンライン】



コグトレ
オンライン

「コグトレ」(Cog-Tr)とは、認知機能に着目した包括的支援プログラムで、認知機能強化トレーニングは、その中核プログラムです。定期的かつ継続的に「コグトレ」を実施することで、認知機能が強化され、学力や生活全般の質、自己効力感の向上など、さまざまな効果が期待できます。

☆家庭での活用として☆

学習に向かう力を養成するため、少しの時間(5分程度：1項目)取り組み、宿題や課題等に取り組むとよいでしょう。小学校低学年のタブレット端末の使い方(タッチで操作できるため)の入り口として活用できます。



文部科学省
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

【文部科学省：情報化社会の新たな問題を考えるための教材】

情報モラル・セキュリティに関する動画教材リンク先になっています。(youtube)

☆家庭での活用として☆

学校の授業での活用もありますが、家庭でも保護者と一緒に動画視聴し、学習者用端末のみならず家庭での情報端末利用(特に家庭ルールづくり等)について考えることができます。

紹介した以外に、学習内容説明動画、英語多読、音楽リズム作成などのコンテンツもあります。子どもの興味関心を高める教材活用もできますので、是非取り組んでみてください。

【マナビジョン：
タイピング タイピング】

令和元年度に「教育の情報化に関する手引」が示されました。手引作成段階における検討案でタイピング入力について、中学校段階では「10分間に300文字程度の文章が正確に入力・編集できる」と示されています。
☆家庭での活用として☆
様々なタイピングのコンテンツがありますが、本コンテンツはホームポジションも示されるため、正しい指使いを身につけられます。



【プログラミング教育に関するコンテンツ】
学習指導要領に、プログラミング教育でプログラミング的思考を身につけることが示され、各教科で実践することが位置づけられています。
☆家庭での活用として☆
学校では指導要領に示された範囲内での実施となりますが、家庭では子どもの創意工夫で発展した内容に取り組むことができます。

家で使う情報端末(スマートフォンやゲーム機など)も含めて、家での活用ルールもきめて正しい使い方しようね。

健康への注意も必要！
・30cm以上は離す。30分に一回は目を休める。
スマホやゲーム機もおなじことね。

授業や宿題でこういうことに使っているんだね。

学校からは「21:00(中22:30)まで」
「学習のために」使うというきまりがあるんだね。

「学校の授業でこういうことに使ったよ。」
「こういう宿題が出たよ。」
「学校からの連絡文書はタブレットを見ればわかるよ。」
など家庭でも有効活用できる。

学校から家庭への持ち帰り、端末使用前後、家庭から学校へ持って行く際には、【充電を含めた端末の状態】【電子ペン・ACアダプタの有無】の確認を是非お願いします。

